

子どもにも優しい社会を

岩切たつや

県議会便り

2018年1月
発行
県議 岩切たつや

住所
宮崎市生目台東
1丁目6-8
電話0985-89-5158
fax 0985-86-8778



一般質問に登壇しました

十代の妊娠300件、いじめ認知1万件

ながら、支援者の皆さんの実践を学んだ中から、行政への働きかけと、社会に声を届けることを目指しました。

現実に取り組んでいること

大きく2点について質問しました。一つは十代の妊娠について、もうひとつがいじめの問題です。

2017年8月末に県内の高校生がホテルで出産し、嬰兒を放置した結果、死に至らしめた事件で逮捕されました。

未成年の女性が一人で出産することがどれだけ不安でつらいことだったか、同時に生きる事ができなかつた赤ちゃんの事を思い、涙を禁じ得ません。妊娠を防ぐこと、それでも万一妊娠してしまつたときはどう相談、支援するか教育長や福祉保健部長、副知事に考えをただしました。

また、文部科学省が10月に全国いじめ調査結果報告を出しました。宮崎県は1万件を超え、人口比で全国2位の数

だったことを取り上げて、教育長の対応を質問しました。

十代の妊娠は身近な問題

十代の出産は全国で約1万1千件、うち十五歳未満が46件もあるそうです。出産に至らない中絶件数は1万5千件ほど。宮崎県内では出産・中絶の合計で300件前後で推移しています。そのすべてが学生ではないのですが、やはり十代の妊娠は大変

な課題だと思えます。男児を含めた性教育のあり方について教育長は、産科医や助産師の協力を得て講話をいただいたり、医師会に「性に関する相談窓口」を委託開設していると答弁。また妊娠が理由で退学させることは無く、休学・復学など生徒の意向を尊重した対応をおこなうとのことでした。

副知事からは、女子生徒が孤立しないよう相談機関を設けて支援していくことで、二度とこのような事件が起きないように努めていくと答弁がありました。

いじめ調査結果に対しては、小さいいじめも見逃さないという積極的な姿勢で調査した結果と答弁。いじめは見えにくいもの、どの子どもにも起こりうるとの認識で、注意深い観察と、未然防止、早期解消、再発防止に組織的に対応していくと答弁がありました。

県立宮崎病院の救急体制が充実へ

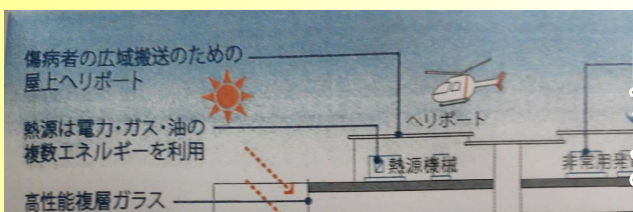
1分1秒を争う命のバトン。宮崎県内では平成24年からドクターヘリが活躍しています。しかし現在の県立宮崎病院には直接着陸できないため、大淀川河川敷で救急車にバトンを渡している状況です。

宮崎病院改築にあたっては、ヘリポートが屋上に設置され、救命救急室に直結したエレベーターも準備されます。また大規模災害時には、自衛隊の大型ヘリが新病院南側の駐車場に離着陸できるよう計画しており、災害拠点病院としての機能も強化される予定とのことです。救命率の向上に病院改築がもたらす影響は大き

いと云えます。直近の数字で県立宮崎病院への救急搬送受入件数は3946件にも及びます。一方725件が搬送があつても受け入れできなかったそうです。症状から他の病院にお願いしたケースもあるそうですが、救急室のベッドがいっぱいで受け入れができないこともあつたとのこと。

そのため新しい県立宮崎病院では、救急外来をいままでの3倍の面積に拡充し、診療室を現行の3室から6室に倍増する計画だとの答弁がありました。

県民の命を守るため、いつでも安心して救急医療が受けられる体制が整備されていきます。



社会民主党県議会議員

岩切たつやプロフィール

昭和36年1月 延岡市生まれ
昭和54年4月県庁入庁
児童相談所、福祉事務所等に勤務
県庁職員組合委員長、延岡市立伊形小PTA会長、宮崎県立延岡工業PTA会長など労働運動、地域活動に取り組む。

現在一period

家族 妻と子ども
資格 社会福祉士、宮崎県登録養育里親



あけましておめでとうございます。今年もよい年でありますように。11月議会一般質問に登壇しました。様々な課題を取り上げて、県民福祉の向上に寄与できるよう頑張っていきます。皆さまの県政に対するご意見、ご要望をお聞かせください。

質問概要

子どもの未来を明るくするために

子どもにもっと予算を回してほしいと願っています

★質問★
虐待に対する児童相談所と警察の連携はどのように展開されているか。

★答弁(福祉保健部長)★
子どもの目の前で家族に暴力を振るう、いわゆる「面前DV」など、児童虐待につながる様々な情報を迅速に察知し、連携して的確な対応を図っている。

■私の意見
激しい夫婦げんかやドメスティックバイオレンスを子どもに見せることは心理的虐待になります。子どもには、その防止と癒やしの対応が必要になります。対応する職員の数も必要です。

★質問★
災害救助に当たる隊員のメンタルヘルス体制は。また、視覚障害者、聴覚障害者の災害情報伝達、緊急通報体制はどうなっているか。



★答弁(危機管理対策監)★
消防、自衛隊など各組織でメンタルサポートが行われ、惨事ストレスへの対応策が図られている。障害者への災害情報伝達には防災無線や防犯情報メールの活用、当事者団体の連絡網を

活用したり、地域の民生委員、消防団の家庭訪問が行われている。現在、「障害者・高齢者のための防災マニュアル」を改訂作

業中で、市町村と連携して体制整備を図りたい。

■私の意見
平成27年11月議会でも避難行動要支援者に対する具体的な対応を質問しています。情報が混乱する大災害のような場面で活かす事ができる対応策の準備を求めています。

★質問★
宮崎県の里親委託促進対策はどうしているか。また、「新しい社会的養育ビジョン」への対応はどうか。

★答弁(福祉保健部長)★
まずは里親の確保が必要。NPO法人に里親確保、研修、相談支援の業務を委託し、里親家庭との継続的な関係を構築いただいている。他県の状況を参考に

にして宮崎県の実情に即した里親委託の推進を図っていく。新しい社会的養育ビジョンについては、国から出される方針を踏まえて対応する。県としては「家庭的養育推進計画」に沿って、施設の小規模化等に取り組んでいる。



■私の意見
社会的養育については施設と里親が密な連携で行われて、初めてうまく機能します。里親支援専門相談員や里親委託等推進員をフルに活用して安定的で継続的な里親家庭と施設との関係をつく

ることで、子ども達の育ちを支えることができるよう要望します。

★質問★
高機能自閉症児、医療的ケアを要する児童への教育体制はどのように準備されているか。

★答弁(教育長)★
集団のルールを守ることに困難さが見られる高機能自閉症児には、県内7つのエリアにサポーターを配置し、専門性の高い教員による支援など行っている。医療的ケアを要する8校49名の児童生徒に、看護師25名を配置している。

★質問★
いじめや妊娠の問題、高機能自閉症児など家庭と学校との間で相談対応する、スクールソーシャルワーカー(SSW)の安定的な確保のため、処遇の向上が必要ではないか。

★答弁(教育長)★
SSWへの期待と役割は年々高まっているが、十分な配置になっていない。処遇改善に必要な財源確保のため国への要望を努力していきたい。

■私の意見
必要な人材が財政の関係で配置されていないのが日本の福祉や教育にもっと予算を回してほしいと願っています。今後

後も取り組んでいきます。



＜11月議会の議案＞
◆一般会計補正予算 1億9,635万8千円
◆情報公開条例及び個人情報保護条例の一部を改正する条例ほか2条例の改正、国民健康保険給付費等交付金及び国民健康保険事業費納付金に関する条例制定
◆教育委員会委員、収用委員会委員などの任命同意など
◆公の施設の指定管理者の指定について
◆生活保護世帯の子どもへの進学に関する制度の見直しを求める意見書、労働者の声を踏まえた「働き方改革」の実現を求める意見書等4本の意見書採択



→宮崎身障協会作品展

←県総合防災訓練で(宮崎港周辺)



会派視察↓(新潟県長岡市の旧山古志村) 地震災害からの復興を学ぶ

卸売市場の機能を守る

近年流通の形態が変化していることを理由に、政府の規制改革推進会議で、市場法改正または市場法そのものをなくしてしまおうという議論がされています。この規制改革推進会議とは加計学園問題でも出てくる会議ですが、世の中の安定のために作られてきた様々な規制やルールを、誰かが儲かるために邪魔になる

と判断すれば無くすのが当然という会議のようです。市場機能の維持を求めた私の質問に対し農政水産部長は「市場は基幹的な流通機能であって、今後も着実な機能強化に取り組んでいく」と答弁されました。

私は、バギー車などで活躍している様子を紹介します。導入していただくよう要望しました。



青島海岸をきれいに

台風で青島海岸に大量の流木が押し寄せました。対応するため今議会に3000万円の補正予算が提案されました。

宮崎観光の目玉である青島海岸を日常的にきれいに維持するため、「日南海岸青島美化愛護協会」という組織が活躍しているそうです。大型機械で取り除いた後、地域のボランティアが参加して、清掃活動が行われたと商工観光労働部長が答えてくれました。

私は、バギー車などで活躍している様子を紹介します。導入していただくよう要望しました。

